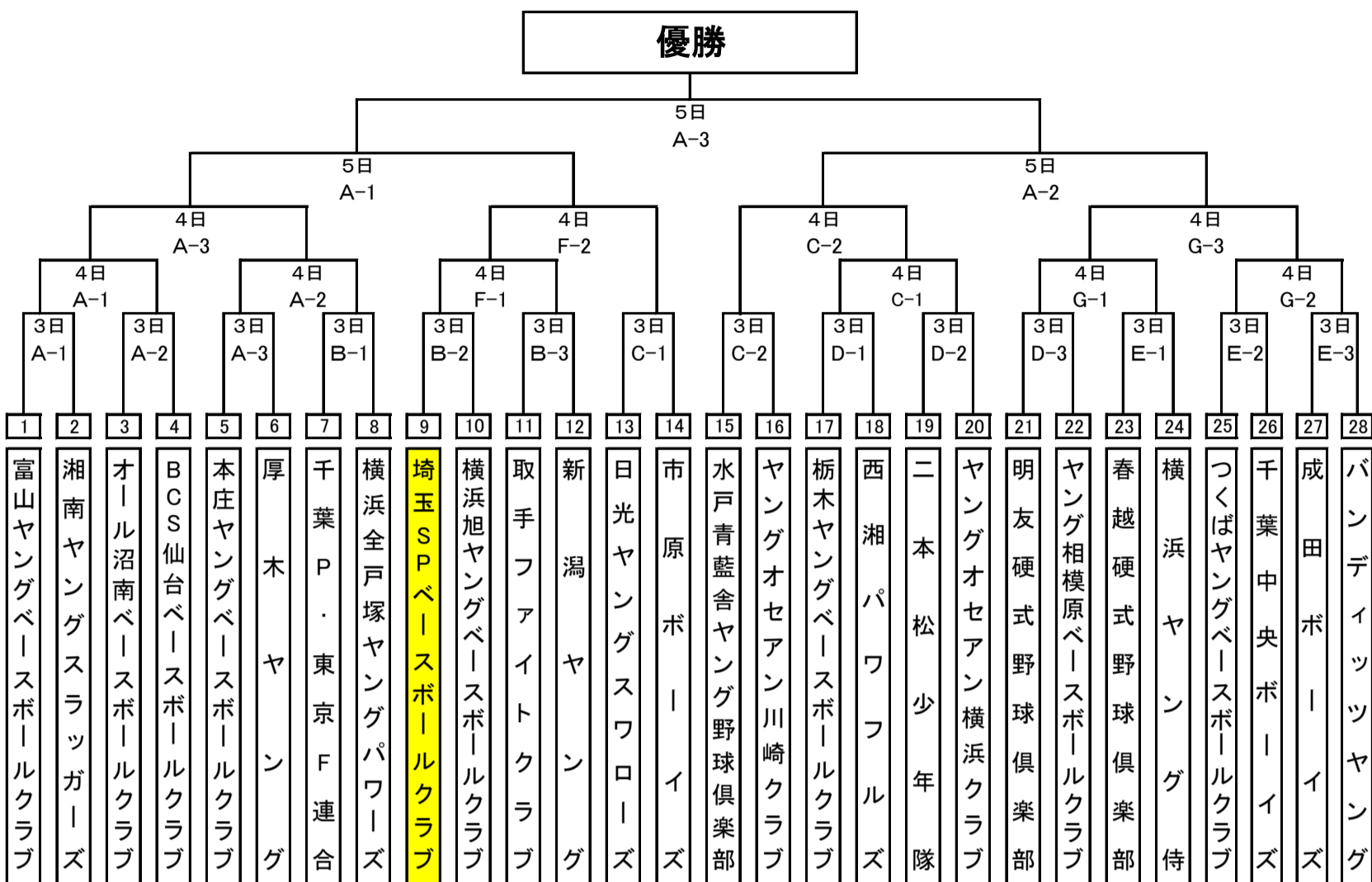


第8回高橋直樹杯関東大会実施要項

1. 名 称 第8回高橋直樹杯関東大会
2. 目 的 ①少年硬式野球の発展と競技力の向上を目的とする。
②各支部との親睦と青少年の健全育成を図る。
③中学生硬式野球への地域の理解と選手の育成を図る。
④他団体との交流を図る。
3. 主 催 管 一般社団法人全日本少年硬式野球連盟 東日本ブロック
一般社団法人全日本少年硬式野球連盟 東関東支部
4. 後 援 一般社団法人全日本少年硬式野球連盟
柏市野球連盟
日刊スポーツ新聞社
㈲ニシオカベースボール企画
5. 大会会長 高橋 直樹
6. 大会委員長 井熊 秀行 東日本ブロック長
7. 大会運営委員 吉原 宏 東関東支部長
8. 大会実行委員 大橋 広行 東関東副支部長
9. 大会事務局 小菅 三男 東関東支部事務局長
10. 開催日時 平成30年5月3日(木)、4日(金)、5日(土)【予備日5月6日(日)】
11. 会 場 柏の葉公園球場
大崎公園球場
東洋大牛久高校グラウンド
茨城中央工業団地野球場 他
宝堀運動公園球場
ハナマイウボールパーク
12. 受 付 柏の葉公園球場 午前7時より受付
午前7時45分より 監督、審判会議
13. 開 会 式 平成30年5月3日(木) 柏の葉公園球場
午前8時00分開始
※選手は右翼側通用門へ午前7時45分集合。
入場行進賞
14. 参加チーム 28チーム
15. 閉 会 式 平成30年5月5日(土) 午後4時00分
柏の葉公園球場
表彰:優勝、準優勝
個人表彰:最優秀選手賞、優秀選手賞
16. 大会参加費 1チーム 30,000円(冊子広告含む)
17. 参加チームは審判員2名を同伴願います。
同伴不可の場合は4月25日までに連絡下さい

第 8 回 関 東 大 会



	球 場 名	第 1 試 合	第 2 試 合	第 3 試 合	備 考
3日	A 柏の葉公園球場	9:30~11:20	11:40~13:30	13:50~15:40	開会式(雨天決行)
	B 宝堀運動公園球場	10:30~12:20	12:40~14:30	14:50~16:40	
	C 茨城中央工業団地野球場	11:30~13:20	13:40~15:30		
	D 東洋大牛久高校球場	10:30~12:20	12:40~14:30	14:50~16:40	
	E 大崎公園球場	10:30~12:20	12:40~14:30	14:50~16:40	
4日	A 柏の葉公園球場	9:00~10:50	11:10~13:00	13:40~15:30	
	F 水海道球場	9:00~10:50	11:10~13:00		
	C 茨城中央工業団地野球場	9:00~10:50	11:10~13:00		
	G ハナマイホールパーク	9:00~10:50	11:10~13:00	13:40~15:30	
5日	A 柏の葉公園球場	8:30~10:30	10:50~12:50	13:30~15:30	閉会式

試合球場

- A 柏の葉公園球場 千葉県柏市柏の葉4-1
- B 宝堀運動公園球場 茨城県坂東市神田山2137-1
- C 茨城中央工業団地野球場 茨城県東茨城郡茨城町中央工業団地5-6
- D 東洋大牛久高校球場 茨城県牛久市柏田町1360-2
- E 大崎公園球場 茨城県つくば市緑ヶ原4-5
- F 水海道球場 茨城県常総市坂手町3552(きぬ総合公園内)
- G ハナマイホールパーク 千葉県富里市十倉2345

東関東支部	11
西関東支部	9
北日本支部	3
北陸支部	2
ボーイズリーグ	3

予備球場

- 4日 大崎公園球場
- 5日 ハナマイホールパーク 大崎公園球場 茨城中央工業団地野球場
- 6日 茨城中央工業団地野球場

大会規定

1. 1チームの登録選手は11名以上25名以内とする。(試合前審査時11名に満たない場合は出場を禁止する)
 2. 選手は全員連盟指定の傷害保険に加入しなければならない。
 3. チーム旗及びプラカードは連盟指定の物とし大会等には必ず持参すること。
 4. 出場選手はその大会の登録選手に限る。背番号は必ず登録された番号とする。
 5. 登録選手及び登録された監督、コーチ(2名)、スコアラーのみベンチに入ることが出来る。
 6. 審査は各所属連盟発行の選手証カードにより行う。
 7. 試合開始60分前には試合場に到着し所定の審査を受ける。
 8. 監督、コーチは選手と同じユニフォームを着用する。背番号は各所属連盟の規定を優先する。
 9. 監督、コーチ、選手はユニフォームの左袖に連盟指定のマークを付けねばならない。
 10. スコアラーは選手と同じ帽子を着用する。
 11. 監督、コーチ、スコアラー等不在の時。
 - (1) 監督不在の場合はコーチが監督の代行と認める。(但しメンバー表に明記)
 - (2) コーチが不在又は欠員の時は指導者登録されている者が代行することを認める。
 - (3) 監督、コーチ不在の場合は事前に申請書を提出しその事情を認めた時は代理監督を認める。
 - (4) スコアラー不在の場合は大会本部に届け出ることにより代理を認める。
 - (5) チーム代表は監督、コーチ、マネージャになれない。
 12. 捕手は必ずユニフォームの下に規定の防具を試合及び練習を問わず着用すること。
 13. ヘルメットは1チーム7個以上同色で完全なものを備えること。
 14. 組合せの若番号が1塁側ベンチとする。
 15. メンバー表(4部)交換時に両キャプテンにより先攻をジャンケンにて決める。
チーム指導者、大会役員及び審判員が立ち会い投球回数制限・可能回数を確認する。(様式1, 2)
 16. グラウンドの都合で大会トーナメント規定が別に制定されている場合はそれに従うこと。
 17. 試合前のシートノックは原則として両チーム5分(後攻から)行う。但し大会運営上、中止する場合がある。
 18. いかなる理由であれ試合開始時間までにチームが球場に到着なき時、球審は没収試合を宣告することができる。
 19. メガホンを使用するのは、指導者のみとし、ベンチ持ち込みは3個までとする。
 20. 監督又はコーチが選手にアドバイスする時はファウルラインのところで行う。
 21. 監督又はコーチが投手に指示を与える場合、1イニングで2回目には自動的に投手交代となる。
その投手は他の守備につくことは出来るが同一イニングでは再び投手として登板できない。
但し新しいイニングに入れば登板できる。
 22. 試合中、攻撃側選手に不慮の事故が起きた場合、審判は臨時代走を許可する。
代走者は投手と捕手を除いた選手の内、打撃の終了した直後の選手とする。
 23. 審判に対して限度を超える侮辱、暴力とみなす行為が認められた場合、審判員は即刻退場を求めることができる。ベンチ外(応援席、観客)から同様の同様に行為があった場合も球場責任者が審判員と相談し退席を求めることができる。
 24. 雷雲、雷鳴が発生した場合には球場責任者、審判員の判断で、速やかに選手を避難させる。
 25. 試合方式
 - (1) 試合は7回戦とし、1時間50分制限とし制限時間を超えて新しいイニングに入る事は出来ない。
但し準決勝、決勝戦は制限時間を2時間とする。延長は行わない。
 - (2) 4回終了時10点差、5回以降7点差の時はコールドゲームとする。
 - (3) 同点の場合は1回のタイブレーク(1死満塁)にて正規打順をもって行う。
タイブレークにおいて決着しない場合は最終出場選手において抽選決着とする。
 - (4) 雨天等その他の理由により試合続行不可能な場合、4回終了をもって試合成立とし、それ以前の場合はノーゲームとする(審判員協議の上決定)。5回以降、降雨・日没等により後攻めができない場合は最終均等回にて試合成立とする。
 - (5) 監督、コーチの指示伝達のためのタイムは1試合(7回)で守備・攻撃毎に2回までとする。
タイブレークに入った場合は1イニングに1回とする。
注1 選手交代及びプレイの確認についての「タイム」は計測しない。
注2 指示伝達は審判員が「タイム」を宣告してから”30秒以内”とする。
 - A) 守備側のタイムの制限事項
 - ① 内野手(捕手を含む)が2人以上マウンドに行った場合は1回カウントする。
 - ② 捕手が投手のもとへ行くのは1試合3回までとして、投手交代時、タイブレークは各1回とする。
 - B) 攻撃側のタイムの制限事項
 - ① 相手側(守備側)のタイム中に協議するのは認められるが守備側のタイムが終了するまでに行う。(守備側タイムが終了しても継続する場合は1回計測する)
 - ② 攻撃側に責任なく試合が中断(選手の突発的な怪我等)した場合は計測しない。
- (6) 投手の投球回数

- (1) 1日7イニング以内とする。端数回数はすべて切上げ1回とする。
 - (2) 連続する2日間で10イニング以内とする。
 - (3) 同日複数試合に登板した投手及び連続する2日間で合計5イニングを超えた投手は、当該試合制限回数から翌日の試合まで投手または捕手として出場できない。
 - (4) 連続3試合を投げた投手は当該試合制限回数から翌日の試合まで投手または捕手として出場できない。
 - (5) 投球回数記録表「様式1」は毎試合、「様式2」は1日終了時点で責任審判員を經由し大会本部に提出する。
26. チームの登録選手数が11名を満たさない場合、連合チームとして参加することができる。
- (1) 予選から本大会までの1大会の連合チームとする。
 - (2) 1大会ごとの連合チームとし、その大会での代表、監督、コーチはそれぞれのチームから選ぶこととする。
 - (3) ユニホームはそれぞれの所属するチームのままで良しとする。
但し、背番号は連合チームの新たな番号とする。